

福祉とやま

ふれあいネットワーク (福) 富山県社会福祉協議会広報誌

2022
7月号
July

No.464



ボランティアグループ「ぼいにゃ村」

目次

CONTENTS

特集 P2~4

富山県社会福祉協議会強化発展計画策定 ~ともに生き、ともに支え合う
地域共生社会の実現を目指して~

情報フラッシュ

県健康・福祉人材センターから P5

知っておきたい福祉情報 社会福祉施設経営相談室から

あかいねトピックス P6

我が社会福祉法人の地域における公益的な取組

県社協いきいき長寿センターから P7

NPO法人の紹介 NPO法人 ビスケット(小矢部市)

令和4年度福祉用具・アイデアコンクール作品募集 P8

ボランティアグループ紹介

ぼいにゃ村(滑川市)

福祉サービス運営適正化委員会事業報告 P9

いらっしゃいませ! 私たちの自慢の一品

(福) めひの野園 ウォームワークやぶなみ

第24回「やさしい福祉のまちづくり賞」あなたの福祉を募集 P10

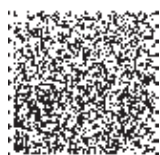
福利厚生センター ソウェルクラブのご案内

全社協刊行図書のご案内/寄付報告 P11

フリートーク

(一社) ponteとやま 代表 水野カオルさん

県社協のおもな動き/編集後記 P12



スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」
または「Uni-Voice Blind」を使えば
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。



この広報誌は共同募金の助成を受けています。

富山県社会福祉協議会強化発展計画策定

「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現を目指して」

富山県社会福祉協議会（以下、「県社協」）は、「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」を基本理念とする「第4次活動推進計画（以下、「第4次計画」）」に基づき、平成29年度から令和3年度までの5年間、多様な福祉関係団体などと連携・協働しながら各種事業を展開してきました。

今般の地域福祉を取り巻く政策情勢や本県の状況などを踏まえ、このたび、第5次活動推進計画となる「富山県社会福祉協議会強化発展計画（以下、「強化発展計画」）」を策定しましたので、その概要を紹介します。

計画策定の経緯

新計画を策定するにあたり、第4次計画期間中の取組みの成果や、達成できなかった事項・その要因などを整理していく中で、いくつかの組織的な課題が見えてきました。そのうちのひとつが「内部連携の強化」です。各部署や事業ごとでの取組みは、第4次計画に基づき、概ね順調に実施できていたものの、他部署との情報共有や組織横断的な協議の場が十分

持てなかったために、組織全体として十分な力を発揮することができず、目指す成果に結びついていないのではないかとという反省が職員から挙がりました。

また、今般の複雑・多様化する福祉・生活課題に対応するためには、県社協と市町村社協が一体となって包括的な支援体制づくりに取り組むことが必要です。市町村社協が、それぞれの地域で包括的な支援体制づくりの中核的な役割を

担えるよう、県社協は様々な事業を通して支援を行ってきましたが、これまでは事業担当者ごとでのかわりが中心であり、市町村社協支援のプロセスや現状・課題などを組織内で共有し、総合的に支援していく取組みについては弱かったのではないかとこの反省もありました。

さらに、今後取り組むべき課題として、組織の見える化や効果的な広報を通して本会の活動を知っていただくことはもちろんのこと、支援を必要とする方に確実に支援が届くようにすること、福祉に携わる方や関心を持つ方、理解者・協力者・参加者を増やしていくことも、本会の役割のひとつであると考えました。

これらを踏まえ、新計画の策定にあたっては、あらためて「県社協のめざす姿」と「県社協の現在の姿（強み・弱み）」を整理することとしました。そして、めざす姿と現在の姿とのギャップを埋めるためには、今後どのような事項を強化して

いく必要があるのかについて、職員間で協議を重ねました。また、地域で顕在化している課題だけではなく、今後10年、20年先に想定される状況や潜在的な課題に対し、本計画期

間中の5年間で、県社協がどう取り組んでいくかという、早期に対応する視点も新たに盛り込みました。さらに、平成27年の国連サミットで採択された「持続可能

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



な開発目標（SDGs）達成の視点も意識して検討しました。新計画の理念である「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」は、SDGsの理念である「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」と多くの共通目標を有していることから、本会の取組みがSDGsの達成に資するものであることを意識しながら取組みを進めていきたいと考えています。

計画全体の構成

本計画は、県社協組織の強化発展計画として、県社協がめざす姿（ビジョン）に向けた取組みの方向性と、それを実現するために強化すべき事項を示すものです。「理念」「基本目標」「強化発展計画（推進項目、取組項目、事業項目）」の3つの階層で構成しており、計画のベースとなる考えを「計画策定の視点」として記載しています。また、「基本目標」を達成するために県社協が強化すべき事項を「重点強化事項」として設定し、「取組項目」に掲げた事項に対し、どれだけ「重点強化事項」を強化して取り組んだかにより、計画の達成状況を評価することとしています。

理念

「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」

現在、国では、高齢者人口がピークを迎え、現役世代が急減する2040年を見据え、地域包括ケアシステムをさらに深化させた「地域共生社会」を実現するための様々な取組みが進められています。本会においても、年齢や障がいの有無、言語や文化などの違いに関わらず、人としての尊厳が守られ、皆が互いを認め合い、支え合いながら、自分の持てる力を活かして社会や人とながら、主体的に参加・参画できる社会の実現を目指し、本理念を掲げました。

計画策定の視点

「福祉教育の推進」

年齢や障がいの有無などに関わらず、外国籍の方やマイノリティと呼ばれる方々を含め、皆が互いを認め合い、意思を尊重し合いながら、地域で共に生きる意識を育む「福祉教育の推進」を、全ての取組みに共通する基盤として策定しました。

基本目標

「あらゆる福祉・生活課題に対応します」

「自分らしい暮らしを支えます」

「多様な機関をつなぎます」

「福祉に関わる人を増やします」

県社協の使命や役割を踏まえ、理念の実現に向けて取り組むための目標を4つ設定しました。地域共生社会の実現には、ニーズの発見・対応・解決の仕組みづくりをはじめ、意思決定支援や生活支援サービスの充実、多様な機関との連携・協働、さらには人と人・人と社会とのつながりや支え合いの仕組みづくりが必要不可欠です。基本目標は、職員がそれぞれの取組みを実施する際の指針・拠りどころとなるものであることから、分かりやすく、覚えやすい言葉で端的に表現することを意識して本目標を定めました。



富山県社会福祉協議会 強化発展計画（第5次活動推進計画）の構成

理念

ともに生き、
ともに支え合う
地域共生社会の実現

計画策定の視点

福祉教育の推進

基本目標

- 1 あらゆる福祉・生活課題に対応します
- 2 自分らしい暮らしを支えます
- 3 多様な機関をつなぎます
- 4 福祉に関わる人を増やします

推進項目

- 1 福祉ニーズへの対応力向上と包括的な相談支援体制づくり
- 2 誰もが役割を持ち支え合う共生のまちづくり
- 3 福祉人材の確保・育成・定着と福祉サービス事業者への支援
- 4 地域福祉推進のための組織基盤の強化

取組項目

- 1 地域生活課題の把握と新たな活動やサービスの開発
- 2 包括的支援体制の構築に向けた市町村社協の活動強化支援
- 3 意思決定支援のための体制づくり
- 4 個別支援を通じた地域づくりを推進する専門職の育成
- 5 社会福祉法人等との連携・協働の推進
- 1 多様な主体の参加とつながりづくりの促進
- 2 災害に備えた地域づくりと福祉支援体制の強化
- 1 福祉職場の魅力発信と福祉人材の確保
- 2 専門性を持った福祉人材の育成とキャリア形成支援
- 3 ICT及び介護ロボットを含む福祉・介護機器の導入・活用支援
- 4 福祉サービス事業者への支援とサービスの質の向上
- 1 組織体制の強化
- 2 経営・財政基盤の強化
- 3 情報収集と発信機能の強化

重点強化事項 : 基本目標を達成するため、推進項目に取り組むうえで強化・意識すべき事項

- 1 組織内の横断的連携
- 5 企画力
- 9 政策・提言

- 2 広報力・組織の見える化
- 6 人材育成
- 10 アウトリーチ

- 3 情報収集・分析・発信
- 7 調査・研究
- 11 資金調達

- 4 多様な機関との連携・協働
- 8 ICT・デジタル化の推進
- 12 行政との連携



推進項目

基本目標を実現するために、県社協が重点的に推進していく事項と、取組みの方向性を掲げました。

◆推進項目1

「地域ニーズへの対応力
向上と包括的な相談支
援体制づくり」



複合的な地域生活課題や、制度の狭間にある多様な課題を把握・分析し、関係機関・団体と共有・協議する場を設けます。また、それらの課題解決に向け、必要なサービスや社会資源、プログラムなどの開発を推進します。

地域福祉推進の中核を担う市町村社協の総合相談・生活支援体制の強化を支援するとともに、県内社協が一体となって、包括的な支援体制づくりに向けた活動の強化を推進します。個別支援を通じて地域づくりを推進する専門職（コミュニケーションソーシャルワークの実践者）を育成するとともに、

地域でコミュニケーションソーシャルワーク機能が発揮できる環境づくりを推進します。

社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の実施を支援します。また、市町村社協と施設経営法人などとの連携を強化し、地域ニーズに対応した活動を推進します。

◆推進項目2

「誰もが役割を持ち支え
合う共生のまちづくり」



ボランティアの啓発活動や県・市町村社協のボランティアコーディネートを通じて、住民の地域福祉活動への参加を促進します。

多様な主体が、それぞれの強みを生かしながら、連携して地域生活課題の解決に取り組む協働のネットワークや場づくりを支援します。

地域に暮らす皆が、互いを認め合い、意思を尊重し合いながら共に生きる地域づくりを進めるため、福祉教育の取組みを推進するとともに、地域住民が福祉について理解し、

行動する機会を増やします。

地域や関係団体との平時からのつながりを強化するなど、災害に備えた地域づくりを支援するとともに、大規模災害に備えた福祉支援体制の強化を図ります。

◆推進項目3

「福祉人材の確保・育成・
定着と福祉サービス事
業者への支援」



福祉職場の魅力発信やマッチング支援などを通して、子育て世代やシニア世代、潜在有資格者、外国人など、多様な人材の参入を促進します。また、福祉教育をベースとした福祉・介護、保育職への理解を深める場の提供など、福祉教育と人材確保の取り組みを協働で推進します。

時代の変化や現場のニーズに対応した幅広い専門研修の企画・実施により、専門性を持った福祉人材を育成するとともに、各法人にキャリア形成の考えが浸透し、人材育成定着が図られるよう支援します。

福祉施設・事業所などが、ICTや介護ロボットを含む福祉・介護機器を効果的に活用することで、業務の効率化が図られ、利用者に安全・安心な福祉サービスが提供できるよう、それらの導入・活用を支援します。

社会福祉法人の経営基盤の強化を支援するとともに、福祉サービス第三者評価の実施などを通して、福祉サービスの質の向上に向けた取組みを支援します。

◆推進項目4

「地域福祉推進のための
組織基盤の強化」



多様な福祉・生活課題の解決に向け、組織横断的な協議の場やプロジェクトチームの設置など、事業を効果的・効率的に推進する組織体制の整備と内部連携を促進します。また、市町村社協を総合的に支援できる組織となるよう、職員

資質向上に向けた計画的な研修の実施やOJTの充実を図ります。



市町村社協へのBCP（事業継続計画）策定支援や、災害福祉活動支援にかかる包括連携協定の締結推進など、緊急時に備えた組織体制を整備します。多様な福祉生活課題を関係機関・団体などと共有・協議するための場づくりや、課題解決に向けた提言活動を推進します。ホームページや広報誌、SNSなどの新しい広報媒体の効果的な活用を通して、組織の見える化を図るとともに、福祉への理解者・協力者・参加者の増加を促進します。

計画の実施にあたって

本会は、「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」に向け、組織の強みを活かしながら、多様な主体との連携・協働のもと、本計画を推進していきたいと考えています。令和4年度から8年度までの新たな5年間も、引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

※計画全文は、本会ホームページにて掲載しています。

<https://www.toyama-shakyo.or.jp>



参加者募集!



県社協 県健康・福祉人材センターから

令和4年度

福祉のお仕事フェア in TOYAMA

～ 福祉の就職総合説明会2022 ～ を開催します!

- 目的 福祉の事業所と求職者が一堂に会し、事業所の管理者などから運営方針、仕事内容、待遇などについて面談する機会を提供します。
- 対象 ● 求職者:(履歴書不要、参加費無料)
福祉職場に就職を希望する一般求職者、2023年3月卒業予定の学生
- 会場 富山国際会議場

福祉・介護分野	児童・保育分野
7月30日(土)	7月31日(日)
対面:91法人 オンライン:12法人	対面:53法人 オンライン:12法人



昨年度のお仕事フェアの様子

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、予定が変更となる場合があります。
県社協ホームページに参加法人一覧を掲載しています。

小学生 親子夏休み福祉の仕事バス教室

高齢者施設などで働く職員やその利用者との交流などを通じ、福祉・介護の仕事について、親子で理解を深めていただける体験型の教室です。

- 【県東部】●日 時 7月26日(火) 10:00～16:00
●会場 しらいわ苑、梨雲苑(富山市)
- 【県西部】●日 時 8月9日(火) 10:00～16:00
●会場 鳳鳴苑(高岡市)
- 対象 県内の小学生(5, 6年生)とその保護者

はじめての 福祉の仕事サロン

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、キャリア支援専門員がていねいにお答えします。

- 対象 福祉・介護分野に興味・関心のある求職者の方
- 日 時 7月28日(木)
8月25日(木)
いずれも13:30～16:00
- 会場 サンシップとやま
- 定員 各月10人(先着順)
- ※事前に下記までご連絡ください。

高校生等の福祉の魅力体験バス教室

県内の高校生、保護者、教員等に対し、福祉の仕事や福祉職場の魅力を知らせ、理解を深めてもらうことで将来の福祉・介護人材の掘り起こしを図ることを目的とした、体験型のバス教室です。

- 【富山会場①】8月3日(水)
白光苑(富山市山岸)、梨雲苑(富山市吉作)、あしたねの森(富山市新庄町)、
ふなはし荘(舟橋村舟橋)、しらいわ苑(富山市水橋新堀)
- 【高岡会場①】8月5日(金)
鳳鳴苑(高岡市蔵野町)、だいが苑(高岡市醍醐)、あさひ苑アネックス(高岡市鷺北新)
- 【高岡会場②】8月17日(水)
七美ことぶき苑(射水市七美)、射水万葉苑(射水市朴木)
- 【富山会場②】8月23日(火)
ソレイユ(富山市下堀)
- 【高岡会場③】8月24日(水)
志貴野長生寮(高岡市滝新)
- 対象 (1)県内の高校生
(2)上記の保護者及び進路指導担当教員等

【体験時間】
いずれも
9:30～16:00

福祉・介護の 求人情報をWEBで!



「福祉のお仕事」から、福祉・介護分野の求人情報が検索できます!



福祉の職場を目指すあなたを応援します!



参加希望
問い合わせ先

県社協
県健康・福祉人材センター
県保育士・保育所支援センター
TEL 076-432-6156

【開所日】月曜日～金曜日
(土・日・祝日および年末年始を除く)
【受付時間】 8:30～12:00
13:00～17:00

社会福祉施設経営相談室から

「収入・支出の配分及び帰属」について

専門経営相談員 中村 厚（公認会計士・税理士）

次のとおり規定されています。

会計基準では、「資金収支計算を行うに当たっては、事業区分、拠点区分又はサービス区分ごとに複数の区分に共通する収入及び支出を合理的な基準に基づいて当該区分に配分するものとする」（基準第14条第2項）とされています。

まず、「寄附金収入」「補助金収入」「借入金収入」の帰属については、次のとおり扱います。

（1）寄附金

寄附目的によって拠点区分の帰属を決定します。（課長通知9（1））

（2）補助金

補助目的によって拠点区分の帰属を決定します。（課長通知10）

（3）借入金

借入及び償還に係る処理については、借入目的によって拠点区分の帰属を決定します。（課長通知10）

なお、右記では主として「拠点区分」の帰属を考えていますが、サービス区分別の帰属を決定する場合も、それぞれ「寄附目的」「補助目的」「借入目的」によって決定する事は同様です。

また、共通支出の配分については「局長通知」において、

局長通知

7 共通支出及び共通費用の配分について

資金収支計算及び事業活動計算を行うに当たって、人件費、水道光熱費、減価償却費等、事業区分又は拠点区分又はサービス区分に共通する支出及び費用については、合理的な基準に基づいて配分することになるが、その配分基準は、支出及び費用の項目ごとに、その発生に最も密接に関連する量的基準（例えば、人数、時間、面積等）による基準、またはこれらの2つ以上の要素を合わせた複合基準）を選択して適用する。一度選択した配分基準は、状況の変化等により当該基準を適用することが不合理であると認められるようになった場合を除き、継続的に適用するものとする。

なお、共通する収入及び収益がある場合には、同様の取扱いをするものとする。

ここに、共通支出及び費用の具体的な科目及び配分方法は「課長通知」「別添1」（給料を勤務時間割合で按分、水道光熱費をメーター又は建物床面積割合で按分等の具体的方法が例示のとおり）とするとされていますが、これにより難しい場合は、実態に即した合理的な配分方法によることとして差し支えありません。また、科目が「別添1」に示すものがない場合は、適宜、類似の科目の考え方を基に配分して差し支えありません。なお、どのような配分方法を用いたか分かるように記録しておくことが必要（課長通知13（1））とされています。

（留意点）

「別添1」等に定める按分基準による配分方法は、理論的には正しいとしても按分基準となるデータ収集の困難さ等のため、実務的にはその適用が難しいケースも想定されます。重要性が乏しい場合や理論的に妥当な按分基準が算出し難い場合などは、支出（費用）の一部又は全部を収入割合によって按分する「収入按分」等の簡便な方法で配分を行うことも実務的には十分に考えられますし、実際に実務的にはその様に取り扱っているケースが相当程度存在するものと考ええます。

あかいはね トビックス



インターネットを通じて募金ができます

今般のコロナ禍で、インターネットを通じた募金方法が注目されています。今回は、当該募金方法の種類についてご紹介いたします。

インターネット寄付システムについて

● クレジットカード決済

● コンビニ支払い

● ペイジー（インターネットバンキング）

● ペイジー（ATM）

● auかんたん決済

● ソフトバンクまとめて支払い

から、募金をいただくことができます。

【「寄付の手順」】

① 本会HPの「インターネットで募金ができます」の部分をクリックします。

② はねっとHPが開き、「この町に寄付する」をクリックすると、県全域への寄付ができます。

その前に、「さらに地域を絞り込む」をクリックすると、

ご自分の希望する市町村に対してご寄付いただくことが可能となります。

③ 赤い羽根共同募金（HP）寄付金ネット決済システムから、ご寄付金額欄で「今回のみ」を選択していただくご利用いただけます。

もし、今後定期的に寄付をされることを希望される場合は、「毎月」を選択していただく、毎月一日に自動に決済が行われます。

詳細につきましては、お支払方法欄の「ご利用ガイド」からご確認ください。

ご利用は、個人としても、法人・団体としても可能ですので、新型コロナウイルスの、非接触型の募金方法として広くご利用いただければ幸いです。

○ 問い合わせ先
県共同募金会
TEL 076-1431-9800

こちらから、
②の「はねっ
とHP」に直
接アクセス
↓



我が社会福祉法人の 地域における公益的な取組

社会福祉法人 戸出福祉会(施設長 野村幸伸)

戸出福祉会は1998年の法人設立以来、「心の豊かな介護を通して、地域に愛され信頼される施設を目指します」という理念のもと、福祉サービス事業の展開だけでなく、地域において介護体験などによる福祉教育や防災教室、地域の見守り活動など様々な活動を行ってきました。

しかし、自身が研究の一環で当法人に勤務する職員に、社会福祉法人の責務や内容を知っているか調査をしたところ、管理者の多くは理解しているものの、それ以外の職員は十分に理解していない状況が明らかになりました。このことを踏まえ、新人研修において社会福祉法人としての使命を伝え、責務を認識してもらう時間を設けました。また、「地域貢献委員会」を法人に設置し、日ごろの相談援助業務やサービス提供を通して、「どの様な福祉ニーズがあるのか、我々職員にできることは何か」を話し合い実行しています。

昨年度からは新たに、人々を繋げ地域住民が助け合う機会を作ることを目的に、「ゴミ出しに苦労されている高齢者の支援を地域の方々と行ったり、ま

た戸出・中田地区の清掃活動も協働で行いました。

最近ではコロナ禍にあり実施できていませんが、納涼祭においては地元の方々はもちろん、保育園や障がい者施設など、様々な団体にも声をかけ、ボランティアだけで150人を含む約700人の方々が出来苑されており、これらの機会を通して、顔の見える関係づくりや、法人活動のパネル展示による福祉への啓発活動を行っています。

今後も地域住民の方々と全職員が一体となり、様々な地域福祉ニーズについて話し合い、地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人としての使命を積極的に果たすべく活動していきたいと思っています。

今後、社会福祉法人としての使命を積極的に果たすべく活動していきたいと思っています。



ゴミ出し支援の様子



納涼祭の様子

県社協 いきいき長寿センターから

第20回富山県ねりん美術展作品募集

ねりんピック愛顔のえひめ2023選考会

概ね60歳以上の方の生きがいと健康づくりとしての創作活動を促進し、明るく活力のある長寿社会の実現に向け、県民に広く理解を求めるため開催する美術展の作品を募集します。人生の年輪を重ねられた奥深い視点や瑞々しい感性豊かな力作を期待しています。

●期間

10月13日(木)と14日(金)の2日間

●会場

富山県民会館美術館

●部門

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

●対象

県内在住の昭和39年4月1日以前に生まれたアマチュアの方

●申込み期間

7月1日(金)から9月2日(金)まで

●作品の搬入

10月12日(水)9時30分から正午まで

●出品料

200円(保険料など)



いきいき脳トレリーダー養成講座 受講者募集

高岡市会場

脳トレーニング問題の作成方法を学んで、脳を活性化しながら楽しく認知症予防と地域貢献をしてみませんか。

●日時

8月25日(木)、9月8日(木)、9月22日(木)、10月7日(金)、10月28日(金)、12月1日(木)、このほか11月中旬に現地実習1回、全7回(午前9時30分～11時30分)

●会場

高岡市ふれあい福祉センター

●受講料

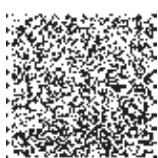
2000円

●対象

県内在住の概ね60歳以上の方で、修了後、高岡市または県内11市町の脳トレクラブにおいて脳トレーニングの普及活動(ボランティア)のできる方。ただし、ボランティア以外の活動を予定される方、この講座の修了生の方は受講できません。

●講師

社会福祉法人秀愛会
障害児入所施設・療養介護施設あゆみの郷
施設長 田淵英一氏(医師・医学博士)



NPO法人 の紹介

高齢者同士が支え合い、助け合う
地域のコミュニティ拠点をめざす

NPO法人ビスケット(小矢部市)

小矢部市で居宅介護支援事業所とデイサービス運営している「NPO法人ビスケット」。地域のコミュニティ拠点として、さまざまな活動を行っています。代表の脇坂せつ子さんに、活動への思いを伺いました。

Q 設立の経緯は？

私は30数年ほど、医療法人の事務として働いていました。定年後も地域のことをやっていたいという想いがあり、60歳でケアマネジャーの試験を受けました。合格と同時に退職し、平成22年6月にNPO法人を設立。同年7月から居宅介護支援事業所を開設しました。



管理者の脇坂健治さんと
デイサービスで働くみなさん

ケアマネジャーとして利用者に関わるなかで、より利用者の気持ちや生活背景を知りたいと思うようになっていきました。そこで地域の方々が

集まれる場所として、平成23年12月、主人とともにデイサービスを開設しました。

Q 現在の活動は？

元氣な高齢者が、少し弱くなったお友達の高齢者を助けながら生活するスタイルを作っていきたいというのが運営の理念です。「ビスケット」という名前には「微助つ人」という意味があります。病院のような大きいところではできないような、隙間的なことをするのが私たちの役割だと考えています。

毎月第1月曜には、デイサービス内でコミュニティカフェを開いています。昼食やレクリエーションを通して、元氣な高齢者たちが楽しく過ごせる場を提供しています。また、第3月曜にはオレンジカフェを開き、認知症に関わる家族が相談し合える場を設けています。

Q 今後の活動、目標は？

まずは活動をきちんと継続していきたいです。ビスケットに定年はありません。現在12名いる会員同士も、お互いに助け合っている。また、デイサービスを始めて丸10年が経ち、コミュニティカフェに集まれる方の平均年齢も上がってきています。もっと若い方にも集まってもらえるように、魅力的な活動内容を盛り込んでいきたいです。



デイサービス「かいぐん」
には誰でも利用できる足湯を併設

○問い合わせ先

NPO法人ビスケット
小矢部市芹川3888
代表 脇坂せつ子さん
TEL 0766-6810266



代表 脇坂せつ子さん

県社協 県介護実習・普及センターからのお知らせ 令和4年度福祉用具・アイデアコンクール 作品募集!!

「豊かな暮らしをつくりだし、生活を支援する福祉用具」をテーマに、人々の生活を豊かで快適にする福祉用具のアイデアや作品・製品を広く募集します。また、優れた作品について表彰します。

生活を豊かで快適にする福祉用具や福祉機器、ユニバーサルデザインなど、高齢になっても、障がいがあっても、誰もが快適に安心して過ごすための「あったらいいな!」を考えてみませんか?あなたのご応募をお待ちしています。

●応募資格

県内在住・在勤の個人またはグループ及び県内企業(県内に本社が在する企業に限ります)

●募集内容

	1) アイディアの部	2) 作品の部
①一般部門 (個人またはグループ)	生活を豊かで快適にする福祉用具の アイデア を募集します。	生活を豊かで快適にする 手作りの福祉用具 を募集します。
②高校生部門 (個人またはグループ)	市販製品やリサイクル品を改良して利用するアイデアを含みます。	独自に考案した介護用品、市販製品の改良やリサイクル品への工夫を含みます。
③製品開発部門 (企業・学校・個人)	福祉用具などに関する 独自の開発製品 を募集します。市販製品、試作品を問いません。ユニバーサルデザイン、共用品などの福祉関係製品のほか、介護支援ロボットや見守りロボット、コミュニケーションロボットなども対象とします。	

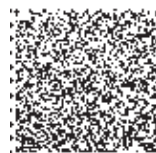
●応募受付期間 令和4年7月25日(月)～8月24日(水)

※応募用紙は当センターウェブサイトからもダウンロードできます。
<https://www.toyama-shakyo.or.jp/hukyu/event/#subtop>

※①、②については未発表の作品に限ります。

※非衛生的なもの、壊れやすいものや危険なものなどは全ての部門で募集の対象外とします。

○問い合わせ先 県社協 県介護実習・普及センター TEL 076-432-6305 FAX 076-432-6307



ボランティア
グループ紹介

ご当地キャラでみんなを笑顔にし 子どもたちが誇れる故郷を

ばいにゃこ村(滑川市)

滑川市を拠点に活動する「ばいにゃこ村」は、ご当地キャラクター「ばいにゃこさん」が運営するボランティア団体です。「ゆるく、楽しく、面白く」をモットーに、地域の方々の笑顔にすること、子どもたちが誇れる故郷を作ること目標に活動しています。



代表 樋口幸男さん

富山の売薬さんをモチーフにした「ばいにゃこさん」は、代表の樋口さんが個人的に発案したオリジナルキャラクターです。地域を盛り上げるご当地キャラクターとして活動を始めたのは平成26年。SNSを通して富山の魅力を発信しているうちに、応援してくれるファンが増えていきました。平成28年からは「ばいにゃこさん」としてキッズサークルに

行ったり、地域のイベントにも出演するようになりました。



「ばいにゃこさん」は富山の売薬さんがモチーフ

コロナ禍をきっかけに力を入れるようになったのが、海岸清掃などのボランティア活動です。SNSで告知や情報発信をしていることもあり、20〜40代の参加者が増え続けています。「ばいにゃこさんのファンは若い方が多いことが強みです。ばいにゃこさんに会いに来るついでに、ちょっといいことするくらいの感覚で、若い方が気軽にボランティアに参加できる環境を作っていきたい」と樋口さん。

昨年からはデジタル活用支援として、高齢者向けのスマー

トフォン教室を開催。さらに今年は「光と灯りの滑川プロジェクト」として滑川市を盛り上げるイベントを開催するなど、ますます活動の幅を広げています。

今後も活動を継続していく

ために、今年4月には「ばいにゃこ村」を一般社団法人化しました。樋口さんは「これから地域が盛り上がることで、子どもたちが笑顔になることであれば何でもやっていきたい」と意気込みます。



定期的に行う海岸清掃には80〜100人ほどが参加

○問い合わせ先

ばいにゃこ村

TEL 076-413-4533

事業報告

運営適正化委員会事業報告

令和3年度に福祉サービス運営適正化委員会へ寄せられた苦情は15件、苦情までに至らない相談は32件、合わせて47件でした。苦情件数は前年度より6件増加し、相談件数は前年度と同数でした。

対象者区分では、高齢者関係と障がい者関係の苦情・相談がともに21件で最も多くなっています。

苦情・相談内容は「職員の接遇」が15件で最も多く、次いで「説明・情報提供」が9件、「サービスの質や量」が5件、「利用料」「被害・損害」が2件ずつとなっており、「その他」として制度や労働問題に関する相談が14件ありました。また、新型コロナウイルス関係では、利用制限や感染症対策をめぐる施設・事業者への不満・不安などが9件寄せられました。

苦情・相談の申出人は、「家族」が24件と最も多く、利用者本人からの苦情・相談は18件となっています。

利用者・家族の要望や意見は、福祉サービス事業者にとって、改善や見直しのヒントになるものであり、「苦情は宝」選ばれるサービスへの道」でも

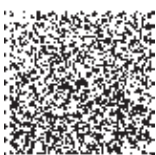
あります。寄せられた苦情を確実に解決するとともに、新たな苦情の発生防止、サービスの改善、質の向上につなげていくことが求められます。

区 分	職員の接遇		サービスの質や量		説明・情報提供		利用料		被害・損害		権利侵害		その他		合 計		
	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	
高齢者	1	7		1		4		2	1					5	2	19	21
障がい者	3	3	3	1	4	1								6	10	11	21
児 童									1				2		3		3
その他		1											1			2	2
合 計	4	11	3	2	4	5		2	2				2	12	15	32	47

○問い合わせ先

県社協 県福祉サービス運営適正化委員会

TEL 076-432-3280



私たちの自慢の一品

社会福祉法人めひの野園



めひの野園「平飼いたまご」

社会福祉法人めひの野園は「まだ手が差し伸べられていない人たちに手を差し伸べ、その障がいをよく理解し、心の扉を開いてもらえるよう歩み寄ります」という理念のもと、障がいのある人たちに、生涯を通じた総合的な治療・教育・援助を行う「自閉症総合援助センター」として、地域福祉の役割を果たすよう努めてきました。

今回ご紹介するのは、当法人の多機能型（就労継続支援B型・生活介護）事業所「ウォーム・ワークやぶなみ」の「鶏卵・堆肥部門」です。

園の敷地内にある8つの鶏舎では、約3000羽の鶏が

「平飼い」という飼育方法で育てられています。「平飼い」とは、自然に近い環境の中で、鶏本来の行動を制限せずに育てる方法で、鶏たちは鶏舎の中を自由に動き回り、太陽の光をたっぷり浴びて伸び伸びと育っています。



鶏舎内で採卵作業に取り組む利用者

鶏たちの餌にもこだわり、高品質の配合飼料に加え、県産の米や、当事業所の「栽培・堆肥部門」で生産している野菜を与えています。このような環境で健康に育った鶏が産んだ卵は、栄養価が高く、味が良いと評判です。

1日に鶏たちが産む卵の数は約2000個。利用者は卵が割れないように一つずつ丁寧に採卵し、「洗卵室」へ運びます。そこできれいに汚れを落とした卵は「選卵機」で大きさと選別され、パック詰めされます。このような「採卵」や「洗卵」「選別」「パック詰め」といった作業は利用者の特性に応じて分担されており、それぞれの作業にやりがいを持って取り組んでいます。

また、めひの野園では、事業所の枠にとられないコラボレーション製品にも積極的に取り組んでいます。卵の包装紙は、「和紙班」の手書き和紙に、書道教室の利用者が手書きした物で、親しみを感じられる仕上がりになっています。

これからも利用者の「出来ること」「得意なこと」「好きなこと」を活かし、一人ひとりが「その人らしく」暮らしていけるよう、めひの野園は利用者へ寄り添い、支援を続けていきます。



「鶏卵・堆肥部門」
室澤 尚史 主任

県社協 地域福祉・ボランティア振興課からのお知らせ

第24回「やさしい福祉のまちづくり賞」あなたの福祉を募集します！！

「やさしい福祉のまちづくり」に取り組んでいる企業、団体及び個人等を表彰することにより、バリアフリーへの関心の高揚を図るとともに、施設等の障害、障壁の除去の啓発、普及を図り、これを通じて県民総参加の「福祉のまちづくり」への理解を深めます。

●表彰の対象

(1). 活動や取組み(ソフト)

障がい者や高齢者等の自立と社会参加を支援するための、福祉のまちづくりに寄与する活動や取組み

＜例＞①障がい者や高齢者等が地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの理解を求める活動等

②障がい者や高齢者等の外出を支援する活動等

③障がい者や高齢者等の自立と社会参加を支援する取組み等

④その他「やさしい福祉のまちづくり賞」審査委員会が、表彰の対象として特に認めたもの

(2). 施設等(ハード等)

障がい者、高齢者ほかすべての人が利用しやすいように配慮された、不特定または多数が利用する施設等

＜例＞医療施設、ショッピングセンター、学校、公衆浴場、福祉施設、集会場、公園、駅等

●応募方法

応募用紙(施設等の応募については専用の用紙を使用)に必要事項を記入し、必要書類を添えて富山県民福祉推進会議事務局へ提出してください。

自薦、他薦は問いません。

令和4年8月31日(水)(必着)

○応募先及び問い合わせ先

富山県民福祉推進会議 事務局

県社協 地域福祉・ボランティア振興課

TEL 076-432-6123 FAX 076-432-6124



令和4年度 会員交流事業企画一覧

① 会員交流事業

単位:円

No.	内 容	通常料金	参加費	予定 人数	実施予定日	日程
1	ソウェルクラブさん さくらんぼ狩りミステリー	13,980	3,980	40	6月18日(土)	日帰り
2	びわ湖をぐるっとひとめぐり	49,800	29,800	30	7月23日(土) ～24日(日)	1泊
3	上高地・梓川散策 源泉かけ流しの温泉と 評判のフレンチで優雅にランチ	13,000	3,250	40	7/23日(土)	日帰り
4	北陸新幹線で行く♪ 日本一の人気温泉♨ 草津温泉&軽井沢フリープラン	51,000	31,000	40	7月～9月	1泊
5	そば打ち&もも狩りにチャレンジ! 心躍る信州グルメ体験ツアー	13,000	3,250	40	8月7日(日)	日帰り
6	「日本人の心のふるさと」伊勢神宮/正宮・別宮 ぜんぶお参りの旅	32,800	16,400	40	9月～12月 (土日)	1泊
7	劇団四季最新作「バケモノの子」観劇 ☆東京ステイプラン	54,000	34,000	40	10月1日(土) ～2日(日)	1泊
8	歩く旅へ 香嵐溪の紅葉と秋に咲く桜 中山道の3宿 昼神温泉	37,800	18,900	40	11月26日(土)	1泊
9	能登中島名物 旬の味覚! 牡蠣フルコース昼食と カルチャーリゾート能登島にてガラスに触れる旅	16,500	6,500	40	11月～3月 (土日)	日帰り
10	1年のご褒美にささやかなプレゼント ☆クリスマスディナー企画	15,000	5,000	30	12月	日帰り
11	新春初詣 ～四神相応の京、千年の歴史へ～ 京都5社参りの旅	36,800	18,400	40	1月14日(土)	1泊
12	事業所対抗ボウリング大会	8,000	2,000	200	2月19日(日)	日帰り
13	大人気グルメ企画が帰ってきた! 「ステーキハウス 六角堂」で豪華特選和牛を食す 金沢日帰り旅行	17,000	7,000	40	通年	日帰り
14	金沢「ラ・プレミナンス」 優越なるミシュランフレンチランチ	19,000	9,000	30	通年	日帰り

※新型コロナウイルス感染症の状況などにより、実施日程や内容、参加費などは変更となる場合があります。

② 施設利用事業

No.	内 容	通常料金	参加費	予定 人数	実施予定日
1	映画入場券補助	1,400	1,000	3,300	有効期間6ヶ月
2	スキーリフト利用補助券			300	冬季
3	天然温泉風の森		通常料金から 130円割引	400	6月1日～6月30日



ソウェルクラブのご案内

福利厚生センターからのお知らせ

ソウェルクラブ富山県事務局では、会員同士や家族間のふれあいの促進、心身のリフレッシュなどを目的に、会員交流事業として、さまざまな旅行やイベント企画を実施しています。昨年度の参加者からは、「家族とともに、ゆったりと贅沢な

時間を過ごせた」「仕事の疲れが消えるくらいリフレッシュできた」などの感想をいただいています。今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、県内外への旅行やグルメ企画などを予定して

います。ぜひ、ご家族や職場の仲間と奮ってご参加ください。また、映画観賞券への助成など、コロナ禍においても会員の皆様に喜んでいただけるような企画の充実に努めていきますので、ぜひご利用ください。

〇問い合わせ先(県事務局)
県社協 総務企画課
TEL 076-432-2958

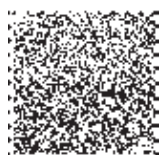
ご寄付
ありがとうございます

● 寄付者一覧 ●

令和4年4月1日から5月31日まで

● 東洋羽毛北信越販売株式会社 様
300,000円

県内の社会福祉事業振興や
地域福祉推進のために
活用させていただきます。



全社協刊行図書を
5%オフで購入できます

全国社会福祉協議会で発行している次の4誌について、県社会福祉協議会を通して年間購読をされた場合、翌年に本体価格の5%を還元します。

◆月刊福祉◆

社会福祉の新しい方向を探る総合月刊誌

◆保育の友◆

今日の保育問題に取り組む保育の専門誌

◆ふれあいケア◆

介護に携わるプロのための応援誌

◆生活と福祉◆

社会保障の根幹としての生活保護の動向を追求する専門誌



詳細及びお申し込みは、県社協のウェブサイトからご覧ください。

〇問い合わせ先

TEL 076-432-2958

〇申し込み先

FAX 049-257-3111

県社協のおもな動き

7月日程	行事名	場所
5 (火)	富山県民福祉推進会議	サンシップとやま
8 (金)	7月度日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
19 (火)	社会福祉法人労務管理研修 (小学生)	富山県市町村会館
26 (火)	親子夏休み福祉の仕事バス教室	梨雲苑、しらいわ苑
30 (土)	令和4年度 福祉のお仕事フェア in TOYAMA (福祉・介護分野)	富山国際会議場
31 (日)	令和4年度 福祉のお仕事フェア in TOYAMA (児童・保育分野)	富山国際会議場

8月日程	行事名	場所
3 (水)	市町村社協事務局長研修会	ボルファートとやま
	高校生等の福祉の魅力体験バス教室 (富山①)	白光苑 他4施設
5 (金)	高校生等の福祉の魅力体験バス教室 (高岡①)	だいご苑 他2施設
9 (火)	(小学生) 親子夏休み福祉の仕事バス教室	鳳鳴苑
10 (水)	富山県福祉人材確保対策会議 第1回ワーキング	県民会館
12 (金)	8月度日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
17 (水)	高校生等の福祉の魅力体験バス教室 (高岡②)	七美ことぶき苑 射水万葉苑
18 (木)	運営適正化委員会第3回苦情解決部会	サンシップとやま
21 (日)	災害ボランティアコーディネーター・リーダー研修会	富山県民会館
23 (火)	高校生等の福祉の魅力体験バス教室 (富山②)	ソレイユ
24 (水)	高校生等の福祉の魅力体験バス教室 (高岡③)	志貴野長生寮

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急小口資金等の特例貸付について、受付期間を8月末まで延長します。
相談・申し込みはお住いの地域の市町村社会福祉協議会までご連絡ください。

編・集・後・記

毎号本誌の取材を通して、関係機関・団体、NPO法人、ボランティアグループ等の皆さんからも「活動をもっと知ってもらいたい」という課題を聞くことが多くあります。本誌は広報媒体の一つとして、県社協の活動を知っていただくことはもちろん、皆さんの活動や想いを取材し伝えることも大切な役割だと思っています。今回掲げた「強化発展計画」の実現に向けて、よりたくさんの人々に情報を届けられるよう努めてまいります。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

- ウェブサイト <https://www.toyama-shakyo.or.jp/>
- メール info@toyama-shakyo.or.jp

ハーティは富山県のボランティア活動のマスコットマークです。



Free Talk

「ごちゃまぜ」の魅力
一緒に楽しんでみませんか

一般社団法人 Ponteとやま
代表理事 (公認心理師)
水野 カオルさん



Ponteとやまは、2014年8月「みやの森カフェ」(砺波市宮森)を拠点にスタートしました。当初、カフェ店主の加藤愛理子(社団理事)は、自らに迫りくる親の介護を想定し、介護をしている人たちも集う場にしたという思いでしたが、私たちのそれまでの経験(公立学校教員、フリースクール講師等)もあり、子どもたちや若者たちが集う場として歩みはじめました。私たちが一方的に支援するのではなく、様々な困りごとがある人もみな、自分への自信を取り戻し、自分の未来に希望を持ち、自分の人生を楽しみながら主体的に生きてほしいと願いながら、

かわってくださる多くの皆さんと共にいろいろなことにチャレンジし続けて8年。子どもも大人も年齢や性差、成育歴等に関係なく、「ごちゃまぜ」の交流が広がっています。
加藤の自宅庭に建てた小さなカフェは、月曜～水曜は不登校の子どものための居場所「フリースタイルスクール」に、木曜～土曜は「みやの森カフェ」になります。その他、発達障がいのある子どもたちを対象の様々なプログラムや学習サポートを提供したり、保護者対象の相談会や、学習会や講座も開催しています。一昨年度からは、高岡南福祉会の協力を得て、特別

養護老人ホームの清掃業務に就労サポートとして取り組んでいます。また、昨年9月には、菓子工房も作り「お菓子のアトリ I Meli-Meli」として手作りスイーツの販売も始めました。
加藤と私の共通点は、障がいのある姉妹がいることです。今注目の「ヤングケアラー」だった時期を過ごしたわけですが、周囲が思うほど不幸ではなく支援対象として見られることに違和感があります。そんな思いが、「支援するーされる」という関係性を作りたくないということにつながっているのかもしれない。

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会は
住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。

